

森山英子さん

1930(昭和5)年8月20日生まれ

民間人

所属 県立第二高等女学校

戦地 那覇市



●1944(昭和19)年10月10日 10・10空襲に遭う

私は女学校1年でした。1年生と4年生とペアで、今日はどこ、今日はどこと、学校から配置されたところに行くんです。十・十空襲の日、私はちょうど天久(あめく、那覇港沿岸)に行くことになってたんです。

で天久の高橋のところ行ったらですね、飛行機がブブブ、ブブブしているから、あれ？ 当時小学校から音楽の時間にですね、耳の訓練させよったんですよ。音でね、これ日本の飛行機の音、ガラガラガラ、これ違うってね。あれ、これ変だなと思って、みんな見上げて。飛行機見たらね、低空してきてから、ウウウ〜って、あれ、これはちょっと普通じゃないなと思いながらこう見ました。

男の方がね、「本物だぞー」って、「本物だぞー」って。そこで見ていた人たちはみんな逃げたんですよ。私は今の総合事務局のところから県庁通ってね。県庁通るときは、もう飛行機から、バラバラバラバラってやるんですよ。家と家との間をね、身を小さくしながらずーっとあっちまで、どんなして家にたどり着いたのかわからないんですよ。

うちの家族は、「あんたくるのを待ってたのよ！」って、私が来ると同時に、もうすぐ家族全部出たんですよ。出て、200メートルぐらいしたら爆弾が落ちてきて、その方たちどうなったかわからん。もう前進んで、前にどんどんどん進んだから。今の開南バス停からずーっといったら、血をだらだら流している人がいるもんだから。開南中学に陸軍病院があったんですよ、その病院に多分みんな連れて行ったはずですけどね。

真和志小のどこ来たらね、振り向いたらね、もう垣花がどんどんどん燃えているわけです。あそこガソリタンクがあるから、飛行場も近いでしょ。燃えてるんですよ。あ、もうあの辺燃えてるから、やがてこちにまで来るから、もっとも奥に逃げよう。

「はんたば」の一番高いところにね、隣近所の人と一緒に逃げて、向こうの山の上に座っていたら、もう火の粉が、空が真っ赤になってね、火がもうどんどんどんこっちまで、繁多川(はんたがわ)までもう燃えて、パンパンパンパン、爆発してる。全部燃えてるんですよ。そして、どんどんどん火の粉が来て。燃えるまでは「まだ大丈夫だ」「まだ帰れるんだ」という気持ちがあるからね。自分の家が焼けてると思わないんですよ。

そうしているうちに、お隣りの人たち、男の方が一緒でしたから、「もうだめだ、みんな燃えてるよ」「もうだめだ、もうこれから那覇におれないからね、どっかに帰りましょう」ってね、自分たちはやんばる(本島北部)の人だから、嘉陽(かよう、現名護市)の人だから、おばさんたちどうしますかってうちの母に言ったんですよ。

●やんばるへの避難

私たちやんばるといふところに行ったことないんですよ、戦前から。全然やんばるのこと知らないから。隣の方は、やんばるにあんたがたの親戚もいるよ、一緒に行きましょうって。うちの母は遠慮したんですよ、親戚と疎遠になってるから。でも子どもたちが、「あのおじさんたちと離れたら大変よ、お母さん」。うちは母子家庭で父親がいなかったですからね。「お母さん、あのおじさんたちと一緒にいこう」って言って、ずーっと付いて行ったんですよ。

普天間に夜10時か、夜中ごろ着いたと思うんですよ。隣の方の親せきが普天間の壕から出て来たんですよ。もうこここの壕にはね普天間の人しか入れませんから。断られたんですよ。今度は多幸山(恩名村)にきたら、あっちもみんな那覇からいっぱい避難民が来るんですよ。そしたら、そこでおにぎり作ってね、みんなに配ってました。

昼になったらね、山に行くんですよ。昼になったら歩かない。山の中で眠るわけ。そして日が暮れたらまた歩きます。歩いて名護まで着いてですね、そこでまた握り飯ね、もらって。そしたら今のような交通じゃないから、今度は大村湾の山の道をですよ。歩いたこともない山の道をね、もう歩きますよ。一番下の子が小学校2年でした。この子がね、「足が痛いよ、痛いよ」ちゅうてね、「あんた足が痛いって言って、あのおじさんたちと離れてみんなと離れたら、もうあんた1人置かれるよ。大変だよ」って、「歩きなさい、歩きなさい」って、この子をものすごく引っ張って。

嘉陽(かよう)というところに夜中着いたら、そこで1晩泊めてもらって、翌日トイレに行こうとしたらもう歩けないんですよ。歩けない。もうみんな歩けない。這ってね、這ってからですね、トイレまで行きましたよ。

それからしばらく空襲がなかったんですよ。学生は学徒動員で学校に帰って来ること、とったんですよ。女の子1人だから、母も心配だけど、私は絶対行くといったの。学校やめさせられたら大変だから、絶対行く、絶対もう那覇に帰って。

(取材日:2012年2月5日)